



百楽苑だより

😊 いい顔みーっけ!!

内村フミエ様が百楽苑に入所し、1年が経過しました。
いつもニコニコし、話好きなフミエ様です。よく冗談を話し、職員を笑わせています。外の景色を見るのが好きで、窓際で過ごすのが日課になっています。

これからも元気に過ごすためにしっかりとご飯を食べ、たくさん職員を笑わせてくださいね。

担当介護福祉士 佐々木翔太



第299号

令和8年3月8日

基本理念

特別養護老人ホーム百楽苑は、社会福祉法人 恩賜 爵位 済生会の精神に基づき、隣接する済生会岩泉病院と連携を密にしながら福祉の原点に立ち、利用者の生活全般について適切なサービスを提供するとともに、地域福祉の向上に努めるものとする。

新年あけまして

おめでとうございます。



特別養護老人ホーム 百楽苑

苑長 三上 久人

新年、明けましておめでとうございます。この苑だよりが発行される3月上旬頃の岩泉町は、まだまだ冬の寒さが厳しく残る時期です。苑といたしましては、利用者様の健康保持を第一に、予防接種の実施、職員の接種支援、苑内でのマスク着用継続と感染予防の徹底を図っています。

さて、苑の令和7年度の目標は「感染症クラスターの防止」でした。今のところ、ご家族様の理解のもと利用者様発熱時の早期対応と受診により、感染症クラスターは発生していませんが、年末年始から長期的に入院する利用者様が増えている現状があります。昨年2～3月にもコロナクラスター後に感染症以外で入院する利用者様が多くなり、令和7年初めから財政状況が厳しくなっている経験から、令和8年も引き続き感染予防に取り組みながら、利用者様の身体機能をできるだけ維持し、苑での生活を元気で過ごしていただけるよう済生会岩泉病院と密に連携し、苑一丸となって取り組んでまいります。

苑の運営につきましては、光熱水費の高止まり、食材料費の相次ぐ値上げに加え、施設設備の老朽化対応などで大変厳しい状況にあります。この苑だよりをご覧になる頃には、国の物価高騰対策、介護施設への支援策の情報が明確になっているかと思えます。これらの支援を一助として、業務改善や利用料の見直し等を行い、経営の安定と制度への対応に努めてまいります。

今年の干支は午年(うまどし)ですが、漢字で書くと牛の字に近く、丑年(うしどし)と勘違いしたのは私だけでしょうか。十二支では午(うま)、十干(じっかん)では丙(ひのえ)で60年ぶりの丙午(ひのえうま)の年だそうです。令和8年が、利用者様・職員の方々が強い競走馬のように健康で、力強く過ごせる1年となりますようご祈念申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

節分

2月3日(火)、職員扮する鬼が各フロアを練り歩き、利用者様は今年も一年間の無病息災を願って豆まきを行いました。



福は内!



鬼は外!



みずき団子作り

1月15日（木）、入所者様と職員でみずき団子作りを行いました。色とりどりの団子は、みずきの木に挿して飾りました。



クリスマス会

昨年12月24日（水）、クリスマス会を行いました。サンタクロースが1人1人にプレゼントを渡すと、入所者様はとても喜んでいました。



おたんじょうび おめでとう

1月

野崎悦子様 (77歳)
 畠山一男様 (82歳)
 相澤文子様 (83歳)
 中村宏一様 (88歳)
 竹花カツ様 (89歳)
 有原正子様 (90歳)
 佐々木スミ様 (90歳)
 下平ハルノ様 (90歳)
 山崎ユキ様 (92歳)
 佐々木ミヤ様 (96歳)
 高野昇様 (97歳)
 高舘オキワ様 (99歳)

2月

増田悌治様 (74歳)
 澤口篤廣様 (76歳)
 鹿糠久雄様 (81歳)
 千葉英子様 (84歳)
 畠山章様 (84歳)
 芦生ユキ様 (87歳)
 立花新蔵様 (89歳)
 菊地ハツ様 (91歳)
 木村セツ様 (91歳)
 畠山シゲノ様 (91歳)
 佐々木イネ様 (91歳)
 砂森ツタエ様 (91歳)

2月

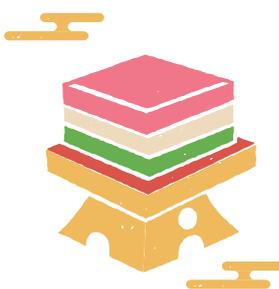
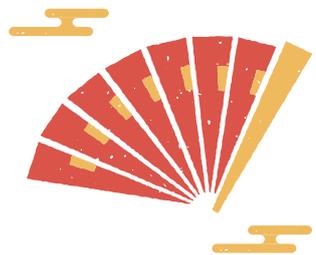
有原正夫様 (92歳)
 弓川キネ様 (94歳)

3月

千葉栄一様 (70歳)
 菊地キミ子様 (77歳)
 佐々木和子様 (79歳)
 米内山千代様 (88歳)
 三上サト様 (89歳)
 三浦禮子様 (92歳)
 関口和子様 (96歳)
 差畑ゴノ様 (102歳)
 金子キクノ様 (104歳)

ひな祭り

百楽苑では今年も食堂ホールに雛人形を飾りました。まだまだ寒い日が続きますが、少しずつ春の訪れを感じています。





1月3日(土)、福笑いやかるたなど、お正月らしいレク活動をして楽しく過ごしました。



済生会学会・総会

2月14日(土)・15日(日)、第78回済生会学会・令和7年度済生会総会が滋賀県で開催され、当苑からは苑長、介護福祉士1名、看護師1名が参加しました。今年度は全国から約2500名が会場に集い、「働かん方改革!? -医療生産性の効率化を求めて-」を学会テーマに、全国の済生会において実践されている職員の負担を減らす具体的な取り組みについて一般演題で学びました。

このなかで、腰痛が介護職の職業病の代名詞ともなっている現状から、「抱え上げない介護」を実践している福祉施設の発表を聴講する機会があり、私たちの介護現場において、いち早く改善していくべき重要な課題は、介護従事者の「身体的負担の軽減」を図っていくことであり、このことを解消していく必要があるということに改めて認識しました。

びわ湖ホールで開催された総会には済生会総裁の秋篠宮殿下のご臨席を賜り、厳粛かつ盛大に執り行われました。とても身の引き締まる思いと共に、これからも日々の業務に邁進していかなければとの覚悟を強く持ちました。

今回の学会・総会への参加を機に、済生会の一員として、利用者様に質の高いケアを提供し続けるためにも、今後も自らの身体への負担軽減や、健康に働き続けられるための幅広い技術の習得に努めていきたいと思っております。

介護福祉士 植村 祐貴子



編集後記
 桃の節句も過ぎ、暖かい日差しに春の訪れを感じるこの頃ですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。この冬は、例年に比べると雪は多かったものの、残るほどではありませんでした。まだまだ朝晩の冷え込みは厳しく、インフルエンザなどの感染症も流行していますので、体調に気を付けて過ごしていきたいですね。



介護福祉士	植村 祐貴子(勤続10年)
臨時介護福祉士	銅 銭 良 子(勤続10年)
臨時介護士	立 白 美 樹(勤続10年)
清掃員	小野寺 春 麗(勤続10年)

